



真山隼人

浪曲師



いよっ！
まっ！
まっ！

日本三大話芸

浪曲



曲師 沢村 さくら

落語

浪曲、落語、講談は「日本三大話芸」と言われ、その一つの浪曲（ろうきょく）は、明治時代初期から始まった演芸で、三味線を伴奏にして独特の節と語りで物語を進める語り芸です。

「泣き」と「笑い」の感情を揺さぶり、いつも人々の心に寄り添ってきた芸能であり、声を出して演じる者を「浪曲師」、三味線伴奏者を「曲師」と呼びます。

今回は日本三大話芸の中から、落語と浪曲をお楽しみください。

中央公民館講座

伝統芸能を感じよう！「浪曲・落語」

2024年 **6月29日** **土 sat**

開場：午後1時30分 開演：午後2時～

場所：富田林市立中央公民館 2階ホール

定員：100名

講師：浪曲師 真山 隼人 曲師 沢村 さくら
落語家 桂 文路郎



落語家
桂 文路郎

申込み：4月10日(水)10時より先着順
中央・東・金剛公民館で入場券を配布します。（ハガキ・電話申込不可）